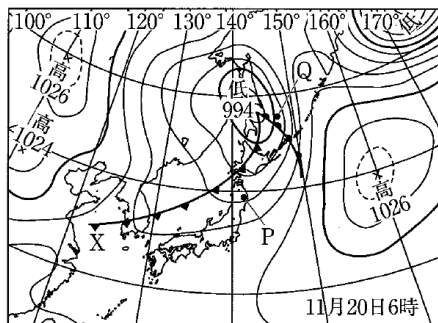


- 4 次の図は、ある年の11月20日6時の天気図である。また、表は、同じ日に図のP地点で行った気象観測の結果をまとめたものである。これについて、あとの問いに答えなさい。



時刻	風向	気温〔℃〕	気圧(hPa)	天気
6	西南西	17.0	1008	①
7	南西	18.3	1006	①
8	南西	17.2	1006	①
9	南	15.7	1007	☉
10	南西	16.2	1006	☉
11	北	13.0	1008	●
12	北	10.0	1009	●
13	北北西	9.2	1011	●
14	北	7.5	1012	☉
15	北北西	5.9	1014	☉
16	北西	3.8	1016	☉
17	西北西	3.2	1017	①
18	北北西	3.1	1018	☉

- (1) 快晴・晴れ・くもりは、雲量によって判断される。天気記号で①と判断されるのは、雲量がいくつからいくつのときか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 0～1 イ 0～5 ウ 2～5 エ 2～8 オ 6～10 カ 9～10
- (2) 低気圧の特徴についての説明として最も適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 等圧線が丸く閉じ、まわりより気圧が低いところであり、その中心付近には上昇気流がある。
- イ 等圧線が丸く閉じ、まわりより気圧が低いところであり、その中心付近には下降気流がある。
- ウ 等圧線が丸く閉じ、1013hPaより気圧が低いところであり、その中心付近には上昇気流がある。
- エ 等圧線が丸く閉じ、1013hPaより気圧が低いところであり、その中心付近には下降気流がある。
- (3) この日、図のXの前線がP地点を通過した時間帯として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 7時～10時 イ 10時～13時 ウ 13時～16時 エ 16時～19時
- (4) Xの前線がP地点を(3)の時間帯に通過したと考えられる気象要素の変化は、どのような変化か。適当なものを次からすべて選び、記号で答えなさい。
- ア 風向が南寄りに変わっている。 イ 風向が北寄りに変わっている。
- ウ 気温が急に上がっている。 エ 気温が急に下がっている。
- オ 気圧が急に上がっている。 カ 気圧が急に下がっている。
- (5) 図のQ地点では、この日の6時ごろどのような雲が見られたと考えられるか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 広い範囲に、高層雲や乱層雲などの層状の雲が見られた。
- イ 広い範囲に、積乱雲などの積雲状の雲が見られた。
- ウ 垂直方向に発達した高層雲や乱層雲などの層状の雲が見られた。
- エ 垂直方向に発達した積乱雲などの積雲状の雲が見られた。

- (1) 降水が無いときの天気は雲量で決める。快晴○(0～1), 晴れ①(2～8), くもり☉(9～10)に分けられる。
- (3)(4) 寒冷前線の通過時には、暖気から寒気の中に入るので気温が急激に下がる。また、風向は南寄りから北寄りに変わる。気温や風向が大きく変化している時間帯に、寒冷前線が通過したといえる。
- (5) 寒冷前線付近では積雲状の雲が、温暖前線付近では層状の雲が発達する。

(1)	エ	16
(2)	ア	17
(3)	イ	18
(4)	イ, エ	
(5)	ア	20